

前橋育英高校報

発行 前橋育英高等学校
広報委員会
印刷 上毛新聞社出版局

日常にも「建学の精神」実現

群馬育英学園 理事長 中村 有三

本年六月、中央教育審議会(中教審)が発行した『二十一世紀を展望したわが国の教育の在り方について』の中に次のような表現がある。即ち、教育は「自分さがしの旅」を扶ける営みと言える。子どもたちは、教育を



学校長 樋口 良夫

本校関係の三団体が力を合わせた『前橋育英高校報』も第二号発行の運びとなりました。本校は高校総体男子総合優勝、全国総体個人優勝、吹奏楽部の二年連続西関東大会出場と活躍、大学合格者も三百十五人、短大と合わせ四百人以上が進学し、

スポーツ・文化・勉学にますます充実しています。本年、夏季休業日を利用して、北京・西安に小旅行しました。ここを訪れたのは昭和五十四年が最初でした。人々は皆、人民服を着用し、黒い社会という印象を受けました。次に訪れた昭

体質の強化を模索

和六十三年は原色の服。そして今回、落ち着いた色とスタイルの服装で外国の観光客とけあっていました。二度の大きな政治的事件を経た中国は今、国民全体に国際化が定着しつつあります。高校は今「生き方」教育推進の中学と体質改善進行中の大学

前橋育英高校 『建学の精神』

「正直・純潔・無私・愛の道義標準に基づく道徳理念を培い、知育・徳育・体育を以って人格の陶冶と錬成をはかり、つねに国際的視野に立って、世界平和と社会の福祉に貢献できる人材の育成を期することを建学の精神とする。」

の間であって、体制面・体質面ともに改善を迫られています。本校では、まず体質の強化を模索しています。将来を見通して、体制改革を志向するつもりです。皆さまのご指導、助言をお待ちしています。

この緊張感が、合奏には重要だ。部活をしていなければ、こんな緊張感は味わえない。ぜひ、この緊張感を楽しんでほしい。



通じて、社会の中で生きていくための基礎・基本を身に付けるとともに、個性を見だし、自らにふさわしい生き方を選択していく。子どもたちはこうした一連の過程で、試行錯誤を経ながら、さまざまな体験を積み重ね、自己実現を目指していくの

とを、教育改革の基本的な考え方としていくべきである。本学園には、それらの考え方を基本に捉えながら、據って立つ「建学の精神」がある。それは創立者の精神ともいえる。いま、わが国では六大改革の中の一つに教育改革が盛んに叫ばれ

「心の教育」がとり上げられていく。神戸の中学生の殺人事件、その他各地で起こった「いじめ」「不登校問題」など。本校でも三十年ほど前に、大久保事件の犠牲者を出したことがある。こうしたことが再び起こらないためにも、日ごろから個々の人格の尊重の上に立って、常に心の浄化を図り、人のために奉仕する考え方を実践し、いつでも、どこでも、自然に行動できる鍛錬が必要である。そこで本学の建学の精神「正直・純潔・無私・愛」の道義標準に照らして自己をみつめてみよう。そうした中で「自分さがしの旅」を続けよう。二十一世紀は目前に迫ってきている。人が人として生きていく中に、お

緊張感 染しむ 2年連続の県代表

吹奏楽部ディレクター

都丸 欣一

夏休みに入り、部室から視聴覚室へ移動してコンクールに向けた、本格的な練習に入った。短時間に平常の力から三段階は上げなければならぬ。たつ

部員のテンションが最高になるコンクール当日。私の一番好きな日だ。バンド全体が緊張感でピリピリしている。演奏への注文にも、いい返事をする。いつもこの状態で練習してくれないかな、と思う。

互いに人と人がかかわり合って生きていくのである。「ゆとり」の中に「生きる力」をはぐくむ教育とはどんなことか。「建学の精神」を、お題目とせず、毎日の生活の中に実現していくことが最も大切であると痛感するのである。



群馬県吹奏楽コンクールに出場の吹奏楽部

進路状況 中間報告

進路の正念場

進路指導部長 吉田 幸一

三年生の二期は、進路決定の正念場だ。毎年のことながら九月になると進路指導室が急に慌ただしくなる。今年の三年生は五百九十三人。昨年は比百人の増である。

就職希望者三十八人(男子二十一人、女子十七人)の書類発送は、既に九月四日に終了した。これは民間企業への志願者だが、公務員希望者九人、自営・縁故六人、そして未発送の四人とその他一人を加え総計五十六人である。九月十七日から始まる就職試験では、ぜひ自分をアピール

ルして入社を決めてもらいたい。十月に入ると、いよいよ専門学校・短大・大学の推薦入試が始まる。推薦希望者は第一次学内選考の段階で短大八十三人(育英短大四十六人を含む)、四年制大学百人、専門学校は推薦・一般を含めて百二十人となっている。推薦試験の合否は調査書はもちろんのことだが、小論文・面接ではぼぼ決まるので、事前の準備をしっかりとしてほしい。小論文は、書けば書くほど上手になるので、担当の先生に添削してもらおうこと。面接は、志望動機

をしつかり述べられるようにしておくこと。

推薦試験は「育英」という看板を背負っていくことになる。受験に際しても、合格した後も、その点を自覚し、くれぐれも後輩に迷惑をかけるないように心がけてほしい。なお百八十人のセンター試験希望者には近日中に要項を配布する。

センター試験まであと四カ月。私大入試も一月下旬には本格的に始まる。残された時間を有効に生かし、第一志望校を突破してほしい。健闘を期待する。

平成10年度の生徒募集

中学校側の強い要望で、公立高校の推薦入学内定期日が二月下旬に繰り下げられ、昨年前倒しになった私立高校の入試も元に戻された。本校は例年どおりの日程で実施されたので、中学校側の信頼も一段と強まった。中学校の先生方の育英高校に対する評価は高く、その期待感がひしひしと伝わってきて、身の引き締まる思いである。

夏季休業中に行われた学校見学会は、二日で二千五百人を超え、そのうち受験する意志を示した者は約半数に上る。本校に対する関心の高さがうかがえるデータである。

平成六年度以来、増え続けた普通科女子の募集定員も、男女比のバランスを考慮して、四クラス百六十人と決定。これで一学年の男子と女子のクラス数が七学級ずつで同じ割合となる。

平成十年度生徒募集の基本方針が決定した。◎クラス定員は四十人学級を原則とするが、体育科は科の特殊性を考慮して四十三人学級とする ◎選抜方法は従来どおり①特待生試験②推薦試験③一般試験の三種で実施される。②の推薦は、普通科

が男女とも定員の五〇割(今年度四〇割)、体育科・保育科・英語科は定員の過半数とする。後の三科は、推薦試験を受験した方が合格確率は高い。一芸推薦は枠を広げたことで今年度は少し増加した。

今年度は、夏季休業中に入試説明会を実施する中学校が何校もあり、全体的に説明会が早まる傾向にある。

平成十年度生徒募集要項(概要)

- 一、募集定員合計五百六十六人
- 普通科 男子 二百人
- 女子 百六十人
- 体育科 男子 八十六人
- 保育科 女子 八十八人
- 英語科 女子 四十人
- 二、試験日程
- ◎特待生および推薦試験
- 試験日 特待生 一月十六日
- 推薦 一月十七日
- 合格発表 一月二十三日
- ◎一般試験
- 試験日 二月二日(学力)
- 二月三日(面接)
- 合格発表 二月七日

※ 詳細は募集要項をご覧ください。
(教頭 高田 孝)

英語科海外研修 実り多いオーストラリアの旅

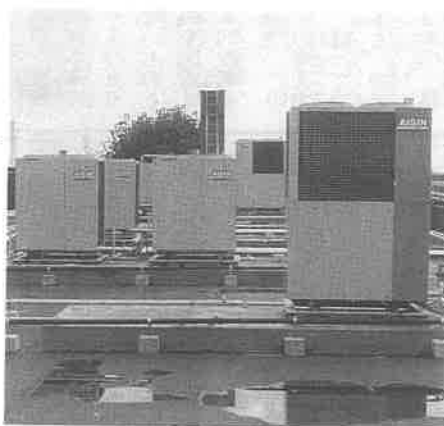
英語科二年生を対象とした研修旅行(団長 小塚正樹英語科長)が、八月十八日から二十七日(九泊十日)の日程で実施されました。

オーストラリアは、ちょうど冬から春にかけてのシーズン。参加した九人の生徒は、ゴールドコーストを観光し、シドニー市内にホームステイしました。短い期間でしたが、現地の家族や人々とふれあい、自然を肌で感じ、多くのことを学んだ実りある旅となりました。

オペラハウス・ハーバーブリッジをバックに



南校舎の空調工事が完了



屋上の室外機

昨年から実施されていた全館空調工事が、夏休み中に完了しました。今回の工事は冷凍機チラーユニット)系統でクーラー化していたものをガス冷媒に切り替えたものです。

これまで室内機の水漏れや老朽化による騒音、冷房能力の低

下などの問題があった三〇C、三〇D、一〇七、一〇八、一〇九、一〇一〇、書道教室の七室が施工されました。

これで全館ガス空調工事が完了し、快適に過ごせる教室となりました。
(事務次長 根岸豊年)

スポーツの結果

●インターハイ●

優勝 西野公章(柔道) 山田政晴(ウエイト)

「風にのれ、君の声援、君の汗」のスローガンの下に平成九年度の全国高校総体が京都府で開催された。本校からは十部四十六人の生徒が県代表選手として出場し、予想以上の成果をあげ全国に育英の名声を高める活躍をした。

最も期待がかけられた柔道は根岸篤史(3A)が県ジュニア選手権大会で左肘を負傷し、出場を断念するアクシデントに見舞われ、団体戦ではまさかの予選敗退。しかし、雪辱に燃えた個人戦出場の西野公章(3A)と高橋慎悟(3A)が大健闘した。軽量級の高橋は決勝トーナメントの準々決勝まで進出、惜しくも判定で敗れ5位入賞。軽中量級の西野は予選は苦戦したが、決勝トーナメントでは強気の攻めで決勝に進出、残り五十秒で得意の大内刈りで有効を取り見事に初優勝を飾った。本校柔道部では初、県内でも十四年ぶり二人目の快挙となった。

二年連続の全国チャンピオン中條桂良(中央大学)を生んだウエイトも、全国選抜大会優勝

の山田政晴(2A)に期待が集中。54^{kg}級に出場した山田は最初のスナッチで92・5^{kg}を挙げ一位となった。得意のジャークでは一本目に115^{kg}を挙げて優勝を決めると、二本目の120^{kg}を失敗したにもかかわらず、三本目に122・5^{kg}の大会新記録に挑戦し、これを成功させてトータルでも大会新記録の215^{kg}となる完全優勝を成し遂げた。本校ウエイト部では通算四人目の優勝者。また同選手は日韓ユース大会(八月二十七日・ソウル)の日本代表となり、この大会でも優勝を飾った。

70^{kg}級に出場した小淵純也(3B)は得意のスナッチで三位にトータルでも八位に入賞する健闘を見せた。この結果、学校対抗戦で六位となり、通算五回目の入賞となった。

団体では、二回戦で敗退したフエンシングも須田貴行(2A)がエペ種目で健闘した。予選トップで通過した須田は、決勝トーナメント一回戦で僅差で敗れ五位入賞、来年に期待がかけられる結果となった。

十人が参加した陸上でも二年生の前村栄一(2A)が善戦。雨中の決勝となった百十^m障害で健闘し六位入賞、来年に望み

をつないだ。本校初の水泳部飛び込み選手となった毒島泰士(1A)も、高飛び込み種目で五位入賞、将来の武器ぶりを示すことができた。このほかに自転車・ボクシング・男女テニス・アーチェリーの各部が出場し健闘したが、入賞にはあと一歩だった。しかし、各部とも将来性のある選手が多く、これから期待される。

●第54回国体●

選手団の健闘を期待

第五十四回国体体育大会は、夏季大会が九月十三〜十六日まで、冬季大会が十月二十五〜三十日まで、いずれも大阪府を会場として開催される。本校では県内や関東ブロック予選を勝ち抜いた八部二十四人の生徒が出場権を獲得。そのほか本校教諭や卒業生の出場も決定。選手団の健闘が大いに期待される。

【参加者】

水泳―羽田利憲(31)、石関慎(2A)、毒島泰士(1A)、堀田美枝(3D)、深見円(1E)、高見沢道代(日体大) ウエイト―山田政晴(2A)、小淵純也(3B)、原徹(教諭)、中條桂良(中央大)、高橋仁(群馬総合CS)、楡原道雄監督(前橋市教育委員会) 柔道―高橋慎悟(3A)、西野公章(3A)、斉藤隆広(3B)、

唐沢満利(国士舘大)、佐藤達也(コーチ(教諭) フエンシング―田部井崇史(21)、須田貴行(2A)、砂山雄一郎(高商短附教員)、多胡賢太郎(フレンドリー)、畔上裕嗣(日本大)、岡田和美(中央大)、須田好俊監督(コーチ)

ボクシング―川村秀明(31)、小林永幸(32)、萩原常仁(大阪商大)、武藤隆行(日体大)、市川秀樹(東京農大)、湯本俊明監督(教諭)

サッカー―関口洋平(3B)、野村真一(31)、堀越智史(3B)、大島秀夫(32)、板橋裕也(31)、吉沢優(3A)、茂原直和(3B)、山田耕介(コーチ(教諭) テニス―高松祐介(34)、松田将十(22)

陸上―前村栄一(2A)、安達友信監督(教諭)

●運動部だより●

水泳―関東大会(飛び込み) 団体三位、高飛び込み二位 板飛び込み二位 毒島泰士(1A)、百^mバタ六位 深見円(1E)、県高校新人大会【男子】五十^m・百^m・二百^m一位 行方佑治(2B)、百^mバタ二位 四百^m個人一位 正田達也(2B)、【女子】五十^m・百^m一位 大谷智香(110) ゴルフ―県ジュニア選手権大会一位 浅野慶彦(33)、四位 狩野匡史(12) サッカー―水戸北ライオンズカップ優勝、高校スーパリーグ第五位(優秀選手)大島秀夫(32) バスケット―県高校強化大会B第二位 テニス―県高校新人大会【男子】S一位 原田妙一郎(23)、二位 松田将十(22)、三位 高松潤(21)、D一位 松田・高松組、三位 原田・有坂裕輔(23)組【女子】S一位 塚田美智子(19)、D三位 外山由樹子(29)・森田恵子(27)組、塚田・広瀬満寿美(19)組 ウエイト―関東選手権大会76^{kg}級一位 小淵純也(3B) 陸上―県高校選手権大会【共通】二百^m一位 山口貴志(2A)、四百^m障害二位 横山正之(3A)、四百^mR一位 横山・山本幸喜(3B)・山岸達也(3B)・佐藤武尊(3A)【二年】三千^m一位 角田洋平(1A)

第15回 育英祭 全員参加で大成功

第十五回育英祭は「On Parade」夏のはじまり」をテーマに七月十一(金)・十

二(土)の両日に盛大に開催されました。六月に行われていた従来の日程を変更したのは、初

夏の太陽の下、育英生全員参加で、そのまま盛夏を呼び込もう、との生徒会本部役員や実行委員諸君の意気込みからでした。実際に期末試験や評定平均、インターハイ予選の結果などを気にせず、例年より参加団体が多く、発表内容も充実していたような気がします。 そんな中で生徒会顧問を最も不安にさせたのは「O157」をはじめとする食中毒の問題でした。飲食関係の模擬店の衛生管理には何よりも気を使い、クラスによる飲食店参加を認めず、品ぞろえより安全性を優先した結果、売り上げは前回より少なかったものの、何事もなく終了したときは、ほっと胸をなで下ろしました。 準備段階では、解決不可能に思えたさまざまな問題がありましたが(TBS「筋肉番付」の収録が没になったことなど)。しかし、それらを一つひとつ解決して、最初に目標とした「育英生全員参加の育英祭」を見事に成功させた生徒会長広神重樹君をはじめとする生徒会役員、育英史上初の女子の実行委員長である立木淳子さん以下育英実行委員諸君、そして何より一人ひとりの育英生全員に賞賛の拍手を送りたいと思います。(特活係 湯本俊明)

保護者会だより

頑張れ!! 文武両道

保護者会会長

浅田

千秋 (せんしゅう) (3-1-D)



前橋育英高等学校も創立三十六周年を迎えました。これもひとえに同窓会・後援会のご援助のもと、長年にわたる進路指導・生活指導のノウハウを修得された教職員皆さまの熱意と、保護者会会員の皆さまの温かいご理解、そして多大なるご支援のためものです。改めて感謝申し上げます。

本年度保護者会活動も、委員各位の活躍で今日まで順調に推移しています。保護者会本部役員の役目は、子どもたちの母校となり一生の心のよりどころとなってくれる前橋育英高等学校が、五十年・百年と歴史を重ねていくための礎になることと心得ます。

歴史を重ねると言っても西暦二〇〇〇年以降の少子化現象が

現実視されている中で、掛け声だけでは実現は困難です。生徒募集に苦慮される学校関係者のご苦労に思いやらざるを得ませんが、本年度学校説明会には、募集定員をはるかに上回る約二千五百人の生徒諸君が集まって

くれたと聞き及び、力強く思います。これもわが校建校以来目指す「文武両道」の成果が高く評価されてきた証と私は考えます。

青少年の心の荒廃が危惧される昨今、本年も幾つもの残念な行動がみられました。このことは、対岸の火災とたかをくくっているわけにはいかなくなってきているというように思います。

本年度の全国PTA連合会・関東PTA連合会総会や分科会でも、このことの危機感から、学校教育と家庭教育の協力と相乗効果が期待されています。

「健全な肉体には健全な精神が宿る」とか、青少年の健やかな育成を実現してくれる一方法

として「文武両道」の精神は大いに役立つものであると信じます。言うはやすく行は難し、されど頑張れ「文武両道」です。

わが校は、スポーツでは県下に限らず、全国や国際大会に出場できるまでに力を伸ばし、文化活動でもプラスバンドなど県を代表する実力を備えています。進学面でも特待生クラスのみならず一般募集クラスの美談も顕著な伸びを見せています。しかも

いざ山形へ!

保護者会副会長

山崎 貞子

(2-1-A)



もうれしいことに単に「文」のみ「武」のみに長けた生徒が集まっているのではなく、一人の生徒が文武に優れた力を発揮しています。

私たち保護者会も、本年度のみならず来年度・再来年度と、より多くの子どもたちが、まさに「文武両道」を実現できる環境づくりに努力しますので、会員皆さまの今後とものご協力をお願い申し上げます。

第四十七回全国高等学校PTA連合大会(山形大会)が「交流しよう日々の実践を、語り合おう若者の未来を、個性を伸ばし、しなやかな感性と生きる力を育むためのPTA」をメインテーマに開催されました。八月二十六日(火)午後からは運営委員会・大会運営会議が開かれ、翌二十七日(水)には全国津々浦々から一万人を超える会員が集いました。

いろいろな交通機関を利用し現地入りしました。私たちは早朝六時三十分本校へ集合し、バスの待つ前橋高校へ。そしてバス三台で他校との交流を深めながら和気あいあい山形へ…。

さあ大会の始まりです。

高校生を取り巻く環境の著しい変化の中でのPTA活動の重要性、家庭教育の再認識、学校教育に荷物を預けすぎではないか、子どもたちのシグナルを受け止めすべての親たちが子どもたちと話を一など考えさせられることはかりでした。

家庭教育—これは今からでも遅くはありません。家庭でしかない、親だからこそできる

教育を、親一人ひとりかもう一度考えなければなりません。来年は群馬が開催地です。

この大会をおして他校とも交流できました。博多の高校のPTAの方からいただいた「来年は群馬に行くけん」の言葉

バザー完売お礼

副会長・文化委員長 中田 尚子 (3-C)



バザー会場となった第2体育館

第十五回育英祭が七月十一日(金)・十二日(土)に開催され、保護者会はバザー参加で協賛という形をとりました。皆さまにご協力をお願いしたところ、延べ四百三十三人のご支援をいただき千六百五十三点を集品、総売り上げ六十万七千一百一円を達成することができました。

紙面をお借りして、あらためてお礼申し上げます。本当にありがとうございます。

このバザー収益金は「生徒会のボランティア活動基金」と

して処理することに本部役員会で決議されました。ご了承をお願いいたします。

実行委員(学級代議委員)の皆さまにはご多忙にもかかわらずバザー品の整理・値付けなどお手伝いいただき、ありがとうございました。反省会を催した際も台風の中、たくさんのご出席をいただき話に花が咲きました。皆さまが、いつも和気あいあいと明るく積極的に行事に参加して下さることに感謝しています。

を胸に帰路につきました。

【参加者】
保護者会
浅田千秋会長、篠原敏子副会長、中田尚子副会長
学 校
国友事務長、根岸事務次長

「育英」の名、世界へ羽ばたく

本年も県高校総合体育大会で本校は総合優勝し、

二年連続、通算七回目の快挙を果たしました。また関東大会や全国インターハイでも大活躍、海外での大会出場や遠征試合も多くなっています。今回は本年度に海外選手権や海外遠征で活躍した五クラブ八人の選手にインタビューしました。

フェンシング部



須田貴行選手 2-B 伊勢崎殖蓮中出身

Q 春休みに'97年世界ジュニアカデ選手権にフルールで出場しましたが、その時の印象は？

A 全国から大学生十四人、高校生十三人が参加。カナリア諸島で強豪のイタリア・フランス・ドイツの選手と対戦しました。相手チームは応援のパフォーマンスも素晴らしく活気があふれていました。技術面では対等でもパワー・スピード面で負けていました。外国チームの練習を見て勉強しましたが、イタリア

チームは絶対に練習は見せてくれず、実戦で学ぶしかありませんでした。今後は突きの精度の向上に努力したいと思います。

Q 今後の抱負は？
A 来年の全国インターハイ優勝。そして大学進学。

ウエイトリフティング部



山田政晴選手 2-B 前橋荒砥中出身

Q 全国高校選抜・インターハイの二冠を制し、日韓高校親善大会へ初の海外遠征となりましたが？

A キムチが辛くて閉口しました。飲料水も悪かったですね。

韓国選手は中量級・重量級が強いですね。日本は54kg級で私

が優勝したのと59kg級をとっただけでした。韓国選手は、中学生で競技に出場、高校生では日本の大学レベルの技量を持っています。

Q 今後の抱負は？

A 国体で優勝し、三冠王に。そのためにも、もっと足を強化すること。そして世界を狙える選手に。

サッカー部



茂原直和選手 3-B 館林多々良中出身

Q グラスカップで、本校チームはU十九グループの決勝に進出。当時の遠征メンバー二十人を代表して茂原選手、試合はどうでしたか？

A 予選三試合、トーナメント四試合を消化し決勝に。国によってサッカーのスタイルが違います。米国のチームはパワーとスピード、メキシコチームはパスワークが巧みで精度の高いサッ

カーというように、思いました。

Q 進路は？

A JFL (NIT関東) に内定しています。今後もサッカーで活躍したいと思っています。

柔道部



根岸篤史選手 3-B 高崎大類中出身



斉藤隆広選手 3-B 新町中出身

Q イタリアジュニア国際柔道大会に選抜で出場。ロシア・イタリア・スイスなどの選手が参加していましたが、印象は？

A 根岸 日本からは十四人が出場。外国人選手は巨漢ぞろい、圧倒的なパワーと体力で押してきます。でも技は、こちらが上回っていると思います。寝技に持ち込むと組みやすく得点がかせげました。基本的な寝技の技術をマスターしていない感じですね。

A (斉藤) 身長差が二十センチもあってやりづらかったですね。やはり力だけで技がなく、寝技に持ち込むことが多かったですね。

Q 食事はどうでした？

A (根岸・斉藤) スパゲティとパンが主で満腹感はありませんが、日本食、特に米が恋しかった。

Q 将来の夢・希望は？

A (根岸) 大学に進学し、その後も実業団ですつと柔道を続けたいと思っています。

A (斉藤) 大学進学。そして世界選手権に出たいですね。

ボクシング部



川村秀明選手 3-1 藤岡中出身



小林永幸選手 3-2 高崎高南中出身



橋爪智純選手 2-B 藤岡西中出身

Q 日韓高校親善大会へ出場しましたが、その時の様子は？

A (川村) ライト級(60kg以下)で出場。韓国選手は一発を狙い

大振りですが、打たれ強かったですね。接戦でしたが、相手のパンチを外しストレート・フックをうまくヒットさせ、判定勝ちしました。

A (小林) ライトミドル級(71kg以下)で出場。胸を借りるつもりで対戦しました。相手はフック攻撃を主体としていました。常に先手をとり試合運びがうまく、ちょっとラフでやりづらかったですね。韓国内でも有名なボクサーだったので、学ぶところが多かったです。

A (橋爪) バンタム級(54kg以下)で出場。戦績・経験も浅いまま選抜され、試合に臨むことになりました。相手は中間距離からガンガン打ってきました。インファイトでいくと、うまいフットワークで逃げられ、ダウンを喫してしまいました。頭がクラクラして思うように動けませんでした。今後は、筋力トレーニングに重点をおき、パンチ力をつけたいですね。

Q 将来の夢・希望は？

A (川村) 専門学校に通いながらジムにも通い、ボクシングを続けたいですね。

A (小林) 大学進学の手定です。

A (橋爪) 専門学校に通いながらジムに入り、プロボクサーになりたいですね。

取材 保護者会 文化委員メンバー

前橋育英

雄渾

同窓会
だより

母校の活躍に喜ぶ日々



同窓会長

第一期生 関根 映一

同窓会員の皆さま、お元気で
しょうか。

お陰さまで同窓会紙も各団体
と一緒に発行されることになり、
紙面も充実して、十月には皆さ
まの元へ届くことになりそうで
す。楽しみにしていらいっしやる
方々が多く、待ち遠しい限りで
す。

また新たに、同窓会名簿も作
製中ですので、なお一層期待す
るところです。

さて、二十一世紀まで、あと
三年半。母校を卒業して三十数
年が経ち、私たち一期生も五十
歳の大人になります。なんと年
月の経つのは早いものでしょう。

私ごとですが、私の娘は二十
三歳、息子も二十歳になります。
親として、子どもの成長には目
を見張る思いが多々あり、驚く
ばかりです。また父母は老いて

同窓会会員の皆さま、ご機嫌
いかがですか。私は昭和四十年
四月に赴任以来、実に三十二年
目を迎えました。昨年二月に教



教頭 高田 孝

頭職を仰せつかり、以来、多忙
の日々を送る毎日です。
普通科の男子校として出発し
た育英高校も、今では体育科・

保育科・英語科を加えた四科(男
女子七百八)で構成される総合
学校に発展しました。しかし、
これから生徒急減期を迎え、私
立高校は生き残りをかけた学校

普通科の進学実績は上がって
はいるものの、他の有名進学校
に比して、まだまだ発展途上で
す。体育科を中心とした運動部
の実績は、県下はもちろん関東

サバイバルレースへの挑戦

経営が要求され、まさに正念場
を迎えることとなります。教職
員が一丸となって、何としても
このレースに粘り勝ちたねばなり
ません。

・全国に響いています。しかし、
特定のクラブに人数が片寄り、
部活そのもののバランスを崩し、
募集定員未充足の結果を生んで
います。保育科や英語科も定員

においては同様の傾向が見られ
科として募集の限界にきている
ことがうかがわれます。
近い将来、思い切った改革が
必要とされることは確実です。
例えば「特進」科またはコース
としての独立した募集。体育科
・保育科・英語科の全科または
一部の科の普通科への吸収とコ
ースの新設など…。これから時
間をかけて検討していかなけれ
ばならないことが、山積みです。
会員の皆さまの全面的なご支援
とご協力を、心からお願ひする
次第です。

よどみの地平に花が咲く

挫折・矛盾・再生

第27期生

城田 邦生(劇作家)

▼閑話休題
育英生の中には、公立高校受
験で苦杯をなめた者がけつこう
多いようだ。育英時代の友人の
何人かはそうであった。私も同
様、思いもよらぬショックを抱
えたまま、育英に入った。

基本的にはまじめな生徒だっ
たと思うが、実情は特進クラス
のくせに部活のめり込んでい
たり、文学部志望のくせに理系
クラスにいたり矛盾だらけ。お
前は一体どんな人間やねん」と
突っ込みたくなるような青春の
日々であった。

しかし、そのことを悔いては

▼再び、閑話休題
大学(文学部)を卒業し、本
格的にプロの演劇活動に入って
二年。まだ無名の劇作家ではあ
るが、大阪天王寺のスタジオを
拠点に劇団を主宰している。



舞台の一場面

演劇は基本的には俗なもの、
ドロドロの人間関係を映し取り、
切り取り、掘り下げていく行為
団員同士でさえ、やれだれが好
きだの嫌いだの、相性がいいだ
の悪いだの、そんな血みどろな

状況が続く。いや、日常の俗に
まみれればまみれるほど、その
反動が作品に出る。
日常から非日常への暗転が突
然やってくるのだ。暗転の中、
スポットライトに照らし出され
個々の俗の垢の中から純化され
た素晴らしい花(真実)が咲く。
その一瞬の輝きが、何物にも代
え難い私の宝物、演劇というわ
けである。

▼最後の閑話休題
挫折し、分裂し、矛盾が深ま
り、俗にまみれながらも真実を

求め前に進んでいくのが人間だ
と思う。その過程にこそ、素晴
らしい一瞬があるのだと信じ、
私は作品を書き、一瞬の花であ
る舞台をつくっている。

**第75回全国高等学校サッカー
選手権大会での募金お礼**
本校はベスト8と大健闘。優
勝した市立船橋に惜敗するなど、
レベルは確実に全国制覇を狙え
る位置にあります。今回の募金
活動は、同窓会全員に振込用
紙を郵送するという初めての試
みでしたが、千人弱で二百万円
超の募金が集まりました。同窓
会役員一同、学校関係者は改め
て皆さまに感謝し、紙面をお借
りしてお礼申し上げます。
(副会長 佐田知弘)

親子2代同窓生

大胡養林寺住職
北條哲也(第1期生)・広人(第30期生)



親子二代で育英高校の同窓生となったことは縁起による。「縁りて起こる」すべての事物は他者に依存して生起し、あるいは存在する。
何気なく私たちが飲んでいる

一杯のお茶。そこにはさまざまなもの、いろいろな事柄が関係している。茶の葉、茶の樹そして種子、樹木の生育には太陽と水が不可欠であるし、また茶を摘む人、運ぶ人、売る人：など

が必要である。それに、わが家でこれを入れるには、水道の水があるし、湯飲みもあるし、急須もいる。連想ゲーム式に関係するものを挙げていけば、あるいは全宇宙が、このたった一杯のお茶にかかわりを持つことになる。

私が昭和三十八年に第一期生となりえたことも、中村理事長先生をはじめ、多くの人たちとの縁。そして入学し、古澤先生、森先生ら恩師との出会い、友との出会い。それから三十年の歳月が過ぎ、文武両道に立派な実績を挙げ伝統ある私学となり、

名声高くなった育英高校創立三十周年に子ども(広人)が入学するとう縁の強さ。時間・空間を超えて不可思議な人との感動の出会いがあった。

親子三代、同じ大学の正大大学に進学し、東京芝大本山増上寺で修行僧となっている。それもこれも高校在学中に、樋口校長先生や柔道部の新井信雄先生をはじめ大勢の恩師、友との出会いがあり、皆に厳しく躰けていただいたからこそ。これが現在の姿となっていることに深く感謝しています。

私の近況報告

高校時代の思い出と24年の鉄道人生

第8期生 関原 勇
(J.R東日本・高崎)



私が育英高校を卒業して、二十四年の歳月が過ぎ去りました。高校時代を振り返ると、数多くのことが思い出されます。その中でも

三年間、硬式野球ができたこと、そして昭和四十七年の春季群馬県選手権大会で準優勝し、関東大会で栃木県の作新学院と戦い、前巨人軍のエース江川卓投手と投げ合ったことが一番の思い出です。

昭和四十八年、当時の国鉄(高崎鉄道管理局)に入社、二十四年の間、鉄道に携わってきました。その間、J.R東日本(高崎支社)に変わってから十年が過ぎていきます。高崎保線区に配属されてから二十四年間、保線業務に従事していますが、この仕事も今は機械化が進み、リフレ

ツシユ職場になってきました。私も二十一世紀に乗り遅れないよう努力したいと思っています。同窓会の皆さま方のJ.Rのご利用を心からお待ちしています。機会があれば母校に向き先生方ともお会いしたいと思っています。

長期休暇を利用して海外でリフレッシュ

第18期生 関根由樹路
(群馬社会福祉専門学校・講師)

「こんにちは、覚えてますか?」覚えてるよ、ゆきしちゃんだろ。こんなあいさつで久しぶりに会った磯部先生と話が始まりました。昨年の夏、学校の学生募集の



アメリカ・ヨセミテ国立公園にて

ため、育英高校に訪問する機会がありました。久しぶりに訪れる高校に対して、何だかドキドキしていました。知っている先生に会ったことで話が弾み、十数年前の高校生の時のことを思い出しました。小学生の時から夢だった小学校の先生には、なることができませんでしたが、幼稚園の先生を経て、今は専門学校の専任講

師として毎日、充実した日々を送っています。幼稚園では三歳から五歳までのちびっこを相手にワイワイガヤガヤ慌ただしい毎日でした。今は、二十歳前後の学生を相手に、時には厳しく、時には同じような気持ちになっ

た過酷な日帰りサイクリングなど、あのころ思ったことや出来事が懐かしく思い出されました。現在、私は腎臓を病み、週三回ほど人工透析療法を受けながらも、柔道整復師として日々診療に迫られる毎日を送っています。腎臓病になったことはとても大変なことですが、丈夫な時には見過ごしていたことが見えてきて、周りを思いやる気持ちや余裕が持てるようになったと思います。時々お年寄りの患者さんを観劇に連れて行ったりしています。また、毎朝一時間ほど愛犬二頭を連れて自転車散歩しているおかげで体調も良くなりました。

仕事の責任とやりがいを日々痛感

第13期生 北條 学
(接骨院開業)



仕事も遊びも、まずは楽しんでできたらと思っています。皆さんはいかがでしょうか? このたび、同窓会だよりの原稿を依頼され、久しぶりに十九年前に卒業した育英高校時代を振り返りました。友人たちとの出会いや、長瀬や鹿沼まで行っ

トピックス

サッカーW杯アジア予選の韓国戦が九月二十八日に行われた。本校出身の山口素弘(横浜F)が先制ゴールを放った。

後援会だより

ゆるぎない私学の王座

前橋育英高等学校
後援会会長 前田 勇



おかげさまで、平成九年度前橋育英高等学校後援会定期総会も六月二十七日(金)に前橋東急インで、滞りなく終了することができました。皆さま方のご協力に深く感謝申し上げます。昨年十一月二十七日から十二月三十一日までの本校サッカー部の『高校サッカー全国大会出

場』募金活動では、ご理解とご協力を賜り目標額を達成することができました。誠にありがとうございます。誠にありがとうございました。選手諸君も、全国大会の舞台で大活躍、全国ベスト8という輝かしい戦績を挙げることができました。本年に入って、第三十二回県高校総体でも男子総合優勝の栄冠を勝ち得ました。二年連続、通算七回目の優勝です。これは素晴らしい成果です。前橋育英高校の各種スポーツの活躍の

チをはじめ諸先生方、そして生徒選手諸君の不撓不屈の努力に心から敬意と感謝と賛辞を贈りたいと思います。また、大学進学も順調で良い結果とのこと。まさに文武両道の三十有余年の歴史ある私学の伝統校の王座をゆるぎないものとしています。私たちの子どもの母校が、名実ともに誇り得る学校となってきました。これらのことは同慶の至りです。本校の運動部・文化部各部のクラブ活動が生き生きと活発に活動できるよう、尽力したいと思います。会員の皆さまの一層のご協力をお願い申し上げます。子どもさんが卒業されると、学校との縁が遠くなりがちですが、母校『前橋育英高校』への『おもい』をいつまでも新鮮にお寄せいただけますよう、心からお願い申し上げます。

平成9年度 後援会定期総会

事業・決算報告など 可決・承認

平成九年度前橋育英高等学校後援会定期総会は六月二十七日(金)、前橋東急インで高校総体男子総合優勝祝賀会に先立ち、午後五時から開かれました。はじめに前田後援会長があいさつ、中村理事長が祝辞を述べ

られました。続いて樋口校長が、スポーツ・進学両面の成果、学校運営の近況と課題を詳しく報告されました。

次いで、今年六月から高校事務長となつた國友事務長が、平成八年度事業・決算報告を行い、満場一致で承認されました。また「父兄会」を「保護者会」と名称変更したことに伴う、後援会規約の一部改訂・保護者会からの役員補充も行われました。

その後、平成九年度の議事に入り、國友事務長が事業計画・予算案を説明。十月に学校・保護者会・同窓会・後援会の合同で『育英高校報』を発行、十一月に後援会新指針案の施行などが決定されました。

中川副校長の閉会のことばで総会は、無事終了しました。高校後援会は会員相互の研修

・視察・会報発行のほか、学校行事や用具・機具類の購入補助運動部・文化部の課外活動への助成などを行っています。今年度のクラブ活動援助費は左表のとおりです。

<平成9年度クラブ活動援助費> 総額6,300,000円

| | | | |
|---------|-----------|--------|---------|
| 野球部 | 2,900,000 | 陸上部 | 300,000 |
| 柔道部 | 650,000 | バスケット部 | 150,000 |
| 剣道部 | 250,000 | バレー部 | 150,000 |
| サッカー部 | 900,000 | ボクシング部 | 150,000 |
| フェンシング部 | 200,000 | ゴルフ部 | 150,000 |
| ウエイト部 | 100,000 | ラグビー部 | 100,000 |
| 自転車部 | 100,000 | 吹奏楽部 | 200,000 |

編集委員メンバー

- 保護者会 文化委員長 中田尚子
- 後援会 常任理事 城田博巳
- 同窓会 副会長 吉田幸一
- 学園 総務課長 中村正人
- 高校 教頭 大石紘一
- 高校 事務次長 根岸豊年

寄稿ありがとうございます。紙面をお借りしてお礼申し上げます。

コラム

今年に入って、子どもたちが犠牲となる痛ましい事件が相次いでいる。また、十代から二十代の若者による暴行や自己中心的な行為も多発。「おやし狩り」「援助交際」なども今や社会現

心を鍛える

象となり、街中や通学途上での一部高校生世代の傍若無人ぶりには目をそむける人も多い。これまでの家庭での養育のあり方や学校教育も含め、今日ほり子どもたちへの対し方が問わ

れている時はない。頭や体を鍛えることにはそれなりの努力が払われ、知識や体は十分すぎる。特に正義感や判断力の欠如は、ちよつと気になる。「衣食足りて礼節を知る」という言葉があるが「衣食過ぎて礼節を失う」である。飽食の時代、やはり甘やかし、過保護、その裏返しに放任の故か。家庭や学校では、子どもたちの「心を鍛える」ことに心しな



総会会場風景